令和３年度
甲府市立相川小学校

校内研究会のあゆみ

研究テーマ
今日的課題に対して，実践的に学ぶ
教員の力量形成をめざして

目次

1　概要
2　第一回校内研究会
3　第二回校内研究会
4　第三回校内研究会
5　第四回校内研究会
6　第五回校内研究会
7　第六回校内研究会
8　第七回校内研究会
9　第八回校内研究会

相 川 小 学 校

研究テーマ　　今日的課題に対して，実践的に学ぶ
教員の力量形成をめざして

１　研究の概要

今年度は，昨年度の研究を継続し，新学習指導要領の改訂に応じた教科書・教材の刷新を受けて，私たち自身が今後の教育活動に生かせることや直近の課題を対象に研修会を設定した。コロナ禍で，限られた時間と講師や場の設定に工夫が求められたが，諸機関のサポートを受けて研修会を実施した。

２　主な実践内容

(1) chromebook の基本的な使い方と授業での有効な使い方【藤巻良輔　情報主任】
教員全体で基本的な使い方だけでなく，取り扱い方についても確認することができた。

(2) ペッパーを活用したプログラミング学習【代表 園原隆敏　アイやまなし人材育成】
スクラッチを使って，ペッパー君という身近なロボットが自分の考えたプログラムで操作することができ，楽しみながらプログラミングを学ぶことができた。午前中には，６年生の児童が体験したが，スクラッチの取り扱いにすぐに慣れ，本校の児童のパソコン操作技術の高さを知る機会ともなった。

(3) 学級経営～学級づくり～【高橋英児　山梨大学】
事前に教員にアンケートを行い，自分の学級の子供たちが抱えている課題ごとのグループで情報交換を行った。ベテランと若手の先生方の交流ができない中であったので，大変有意義な話し合いがなされた。

(4) 学級経営に生かす教育相談【内藤雅人　公認心理師】
子供たちにいかに適切な言葉かけをするか，そのタイミングや教員の信念について 2 学期からすぐに使える実践的な内容の講義であった。児童理解に悩んでいた先生方の大きな支えとなる研究会であった。

(5) ＧＩＧＡスクール構想推進に関わる講義と Classroom の活用実践【山主公彦指導主事】
ＧＩＧＡスクール構想について全体で確認ができた。様々な実践事例を紹介してもらい，とにかく自分自身がやってみることが大切であると実感できる研究会となった。

(6) 学級における心理的安全性と笑いについてとワークショップ【オシエルズ】
芸人としての活動を行いながら，全国各地で研修を行っているオシエルズの二人を講師として招いた。学級経営の中には，「笑いとコミュニケーション」が大切であると講義を受けた。明日からすぐに使えそうなゲームを体験しながら，楽しく学ぶことができた。

３　成果と課題

昨年度に継続して，「仮説検証型」の従来型校内研から「課題解決トピック型」の校内研に変更した。多忙化の改善のため，校内研に要する時間は基本的に６０分間に限定した。講師招聘型の校内研究であるため，新型コロナウイルス感染症対策の観点から，なかなか思うように研究会を実施できなかった。しかし，どの研究会でも今日的な課題に特化した内容であったので，研修から得た経験を実践できたという成果は上げられた。

（文責　村松　宏美）

2021.5.19（.水）

相川小

第１回校内研究会

司会・記録 ：６年
場所 ：職員室 3:50 ～ 4:50

今日的課題に対して，実践的に学ぶ
教員の力量形成をめざして

先日は，学級経営についてのアンケートへのご協力をありがとうございました。先生方の質問等は，髙橋先生にメールにて送らせていただきました。改めて日程を調整し，回答をお願いしたいと思います。

今日の研究会では，Choromebook について学習します。初回のログインの方法について全校で確認し，児童がいつでも使えることができるよう準備を進めていきたいと思います。

1　はじめのことば　（司会）
2　校長先生の話
3　連絡　（村松）
　①一人一実践について
　②履歴シートについて
4　研修会
　○ Chromebook について　（藤巻）
　①初回ログインの方法・実践
　②活用例の紹介
　③使い方のきまり（別紙資料）
5　おわりのことば　（司会）

＜連絡＞

①一人一実践について

本年度は，一人一実践についての取組をお願いします。内容は，自己観察書に書かれた内容を参考に作成してください。人事評価制度について，教頭先生から出された資料にもありますが，「甲府スタイル」を意識したの授業，今年度の学校教育目標にもある「学級経営の充実～もっと一人一人と学級を大切にした教育～」を踏まえた内容であるとよいと思います。自己観察書の提出に合わせて，一緒に作成していただくとよいと思います。

６月の上旬にはＰの作成をお願いします。また，「①全教職員で教科指導を通して育みたい児童生徒像」については，教育課程の学校教育目標の「めざす児童像」の中から，学級の実態や自身の学習指導上の課題を踏まえた上で記入してください。

②校内研究履歴シートについて

本年度の校内研究も，「課題解決トピック型」で行います。先生方の今日的な課題に特化した研修会にはなりますが，全校の先生方が意見交流をしたり，実践を報告したりする時間を設けることができません。実践を行った後，教師自身が学習した内容をふり返ったり，自身で実践に生かした足跡を残したりすることで，さらに実践的に学ぶ機会になるのではないかと考えました。

そこで，校内研が終わりましたら，履歴シートに大切だと思ったことや実践に生かしてみたいことを一言でよいので書いてみてください。先生方の履歴シートを誰でも見合うことができることにし，他の先生方が考えたことや疑問点を共有することで，私たちの力量を高めていきましょう。

○期限・・・・・・・校内研究から２週間以内（「鉄は熱いうちに打て」の精神で！）
○保存場所・・・「校務共有フォルダ」→「外部系接続フォルダ」→「□校内研究」→
　「Ｒ３校内研」→「履歴シート（もと）」
　の（もと）を名前に変更して保存をしてください。

2021.6.11（金）

相川小

第２回校内研究会

司会・記録 ：５年

場所 ：体育館 3:50 ～ 4:50

今日的課題に対して，実践的に学ぶ
教員の力量形成をめざして

１　はじめのことば　（司会）

２　校長先生の話と講師の紹介

３　研修会
　【ペッパーを活用したプログラミング学習の実践研修】

４　おわりのことば　（司会）

昨年度からプログラミング教育が必修となりました。情報活用能力の育成を図るため，児童がプログラミングを体験しながら，コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身につけるための学習活動の充実を図ることが求められます。

今日は，ペッパーを活用して，分かりやすくて楽しいプログラミングを先生方に体験していただきます。お寿司チェーン店の入り口にいたことがあるため，子どもたちも興味をもって活動ができそうです。本日６年生が体験していますので，感想を聞いてみてください。

＜連絡＞

①持ち物は特にありません。一人１台 Chromebook を使用しますが，６年２組のものを使わせてもらいます。先生方のアカウントでログインして使用します。パスワードは，体育館でカードを配布します。カードはそのまま個人で保管をしてください。
研修後は，アカウントの削除をお願いします。

②次回の校内研７月７日（水）は，髙橋英児先生に来校していただき「学級経営～学級づくり～」について研修会を行います。髙橋先生には，学級の様子を事前に参観していただきます。先日のアンケートも踏まえながら，先生方が課題だと思われている実態やその背景などを研究会の時に話し合い，実践に生かしていける研修会にしたいと思います。
＜学級の参観予定日時＞
・６月１７日（木）８：３０～１２：３０
・６月２５日（金）８：３０～１２：３０

2021.7.7（水）

相川小

第３回校内研究会

司会・記録 ：４年
場所:コモンスペース 3:50 ～ 4:50

今日的課題に対して，実践的に学ぶ
教員の力量形成をめざして

１　はじめのことば　（司会）

２　校長先生の話と講師の紹介

３　研修会
【学級経営～学級づくり～】
①高橋先生の講義（２０分程度）
②グループでの話し合い（２０分程度）
③高橋先生の講義（２０分程度）

４　おわりのことば　（司会）

４月の学級開きからコロナ禍の状況でも，相川小学校の子供たちは一生懸命に学び成長しています。先生方の日頃の丁寧なご指導の賜であると思います。しかし，子供たち一人一人を把握したり，学級を集団として高めていったりすることに対して，日々悩み不安があることも事実です。

「学級づくり」の課題を解決するために，高橋先生の話を聞いたり，同じ問題点を抱えている先生方と意見交流をしたりすることで，「子ども理解」をどう深めていくかについて，研究会を行いたいと思います。今後の学級経営で大切なのは，『子供の理解→教師と子供の信頼関係の確立』であることを中心に高橋先生よりご講義いただきます。

先生方のアンケートより，学級の問題点が共通するグループを作りました。グループでの話し合いを通して，悩みや困っていること，それに対する違う見方・考え方に触れたり，新しい方法や今までやってきた内容をさらに掘り下げるような意見がグループで共有されたりする機会となることがねらいです。

２学期の校内研究会でも，高橋先生に来校いただきます。今日の話し合いを通して，学級がどのように変容していったか，また，新たな悩み等についてさらに考えていきたいと思います。

Ａグループ	Ｂグループ	Ｃグループ	Ｄグループ	Ｅグループ
・自主性を高めたい ・学習規律を徹底させたい ・お互いの良さを認め合わせたい	・自主性を高めたい ・学習規律を徹底させたい ・言葉遣いに気をつけさせたい	・自主性を高めたい ・お互いの良さを認め合わせたい ・友達に思いやりをもった行動をとらせたい	・自主性を高めたい ・お互いの良さを認め合わせたい ・友達に思いやりをもった行動をとらせたい	・自主性を高めたい ・言葉遣いに気をつけさせたい ・友達に思いやりをもった行動をとらせたい

※＿＿＿＿の先生は，グループの話し合いの時にぜひ積極的に司会をお願いします。
※当日，ワクチン接種で人数に変更がある場合があります。ご承知おきください。

＜連絡＞
履歴シートをご活用ください。次回，高橋先生に来校いただくまでに，実践してみたこと，さらに疑問に思ったこと・もっと知りたいことなどを１学期末までに履歴シートにご記入ください。先生方の疑問を事前に高橋先生にお送りして，次の校内研究会の話題にしたいただきたいと思います。

2021.7.21（水）

相川小

第４回校内研究会

司会・記録 ： ３年
場所:コモンスペース 10:00 ～ 11:30

今日的課題に対して，実践的に学ぶ
教員の力量形成をめざして

1　はじめのことば　（司会）

2　校長先生の話と講師の紹介

3　研修会
　【学級経営に生かす教育相談】
　内藤雅人先生による講義および演習

4　おわりのことば　（司会）

今回の校内研究会では，内藤雅人先生に「学級経営に生かす教育相談」についてご講義いただきます。
前半で，自己理解・教育相談的な姿勢，言葉かけの大切さなど理論的について内藤先生よりお話を伺います。後半は，いじめ・協力等に関する演習をしてくださる予定です。演習においては，下のグループで行います。ご確認ください。

Ａグループ	Ｂグループ	Ｃグループ	Ｄグループ
校長先生	乙黒先生	鶴田先生	保坂先生
高鳥先生	丹澤先生（２－１）	稲田先生（２－２）	小池先生（３－１）
彩子先生（１－１）	武居先生（３－２）	村松　（４－１）	藤巻先生（４－２）
清水先生（５－１）	岩間先生（６－１）	鈴木先生（５－２）	浅利先生（６－２）
	深澤先生（ひまわり）	平出先生（たんぽぽ２）	饗場先生（たんぽぽ１）

※特に司会を決めませんが，各グループでの話し合いがある場合には，積極的にご参加ください。

＜連　絡＞
第５回校内研究会は，８月２３日（月）１３：３０～１５：００です。
Google for Educationの使い方について，山主指導主事に来校いただき講義をしていただきます。内容については，先日お配りしたアンケートを基に，先生方がすぐに実践したいと思われる内容を中心に教えていただこうと思います。お忙しい中申し訳ありませんが，**アンケートは７月３０日（金）までにお答えください。**よろしくお願いいたします。

最後のページに「エゴグラム・チェックリスト」があります。５０項目の質問に○ △× で答え，採点をしたりグラフにまとめたりしていただきます。１５分くらいでできますので，**研究会の前までに答えておいてください。**よろしくお願いします。

2021.8.19（木）

相川小

相川小学校　第５回校内研究会

今日的課題に対して，実践的に学ぶ
教員の力量形成をめざして

8月23日（月）と9月8日（水）の校内研究会について、延期（時期未定）にします。

○8月23日（月）の【GIGAスクール構想推進に関わる講義及びClassroomの活用実践】の中で、山主指導主事からご指導いただく予定だった資料がクラスルームに掲載されています。2学期からの指導に活用できそうな事例も載っていますので、ご覧下さい。

○上の資料については、教科や掲示用など使えそうなところに付箋を貼って、職員室の西側カラーボックスに置いておきます。必要に応じて、クラスルームからデータでご使用ください。

○左の資料は、紙ベースで先生方にお渡しします。読みにくいところは、クラスルームでご覧下さい。右の資料は、担任の先生方は、クロムブックの充電ボックスの中に、学級保管用に入れてご活用下さい。

2021.11.24（水）

相川小

第６回校内研究会

司会・記録 ： ４年
場所:コモンスペース 16:00 ～ 17:30

今日的課題に対して，実践的に学ぶ
教員の力量形成をめざして

１　はじめのことば　（司　会）
２　校長先生の話と講師の紹介
３　研修会
　【学級における心理的安全性と笑い】
　講師　オシエルズ（矢島ノブ雄様・野村真之介様）
４　おわりのことば　（司　会）

今回の校内研究会では，オシエルズさんをお迎えして，ご講義いただきます。「学級経営の充実」は，学級内にあふれる子供たちの笑顔と喜びが必要です。学級経営において，今日的な諸問題や課題がたくさんあります。そのような状況であっても，子供たちとともに笑い合い，喜び合い子供と共に成長していく反省的実践家としてのプロ教師の力量形成が必要だと考えています。

本校では，この2年間，「教育の今日的課題」に向き合って，校内研修の機会に様々な学びを進め，教師の力量形成を目的に取り組んできました。

今回は，2年間の校内研究会の締めくくりとして，教育に絶対不可欠な「笑いとコミュニケーション」についてのワークショップを開催します。

＜持ち物＞

○運動のできる服装
○ニックネームカード（胸のところに養生テープでペタリと貼りつけてください。）
☆**やる気と元気**☆
○筆記用具（当日の資料はありません）

＜お願い＞

○座席は特に指定がありません。円形になっていますので，ぜひ前へ！

「オシエルズYoutube」にたくさんの動画があります。
事前にご覧になったり，講義のあと気になる動画を視聴したりして，
さらに研修を深めてはいかがでしょうか。

2022.1.12（水）

相川小

第７回校内研究会（中止）

司会・記録 ： 教務

場所: ４年１組 15:50～16:50

今日的課題に対して，実践的に学ぶ
教員の力量形成をめざして

１　はじめのことば　（司　会）

２　教頭先生の話と講師の紹介

３　研修会
【教職をふりかえりながら～話しておきたいこと～】
小宮山尚校長先生による講義

４　質疑応答（１５分程度）

５　おわりのことば　（司　会）

今回の校内研究会では，小宮山校長先生に「教職をふりかえりながら～先生方に話しておきたいこと～」と題してご講義いただきます。

前半で，校長先生よりお話を伺います。後半は，お話をお伺いする中で，またはご一緒に勤務した中でお聞きしたいことなど，質疑応答の時間を取ります。この機会に普段なかなか聞けないことをたくさんお聞きしたいと思います。

※新型コロナウイルス感染症の状況により，参集せずにクラスルーム内の Meet になる場合もあります。ご承知おき下さい。

＜お願い＞

今年度の校内研究会は，2月16日（水）が最終となります。来年度の校内研究の在り方について，方向性を考えてきたいと思います。振り返りのアンケートにご協力をお願いします。このアンケートを踏まえて，1年のまとめと来年度の見通しについて確認をしたいと思います。アンケートは，Googleフォームを使って行います。配信するときには，また掲示板にてご連絡します。ご協力をよろしくお願いいたします。

2022. 2. 16（水）

相川小　　第８回校内研究会（中止）

・場所，時間　　職員室　　15:50～16:50

今日的課題に対して，実践的に学ぶ
教員の力量形成をめざして

１　はじめのことば　　（司　会）
２　今年度の振り返りと来年度に向けて（村松）
３　来年度について（校長先生）
４　おわりのことば(教頭)

〇今年度のふり返りと来年度に向けて

【１】今年度の振り返り

履歴シートに書かれた研修の感想や疑問点などをまとめました。本来であれば、疑問点を基に，研修を深めたり、講師の先生方から再度指導をいただいたりする予定でした。しかし，中止や延期が続き，計画的な研究会を行うことができませんでした。以下に先生方が研修を受けての感想などを上げました。

①　「Chromebook」の基本的な操作・使い方のきまり

・教員全体で基本的な操作や使い方のきまりの確認することができた。しかし，教員によって操作の得手不得手があるため，分からないことが多く不安を感じるところもあった。どういう場面で端末を活用していけばよいか積極的に試して，子供たちと学ぼうと感じた。

②　ペッパーを活用したプログラミング学習【アイやまなし人材育成】

・自分が作った通りにペッパー君が動くので，とても楽しかった。プログラミング学習では，「楽しさ」「面白さ」「不思議さ」が大事だと思った。試行→思考→試行を繰り返していく過程がまさしくプログラミングだと感じた。６年生が学習している様子を見て，相川の子供たちの技能の高さに驚いた。自分も資質を高めていかなければと思った。

③　学級経営～学級づくり～①【高橋英児先生】

・他の学級の先生方も似たような悩みをもっているとわかり，よかった。なかなか他学年の先生方と話をする機会がもてなかったのでよかった。小グループでの話し合いの時間がもっとほしかった。子供との関わりのなかで，「愛をもって今は諦める」ことで冷静になることの大切さを学んだ。「Ｑ－Ｕがすべてではない。担任が見えている目の前の子供の姿がきっと正しい。」だからこそ，心の奥底に潜んでいるかもしれないものをＱ－Ｕでうまく見取り，うまく活用していくべきだと思った。

④　学級経営に生かす教育相談【内藤雅人先生】

・アドラー心理学によるＩメッセージを多用してみたいと感じた。褒めることが「上から目線」とは思わなかった。また，言葉の裏側に目を向けることの大切さを実感し、自分の学級で子供たちの言葉をしっかりと聞きたいと思った。

⑤ ＧＩＧＡスクール構想推進に関わる講義及びClassroomの活用実践

【山主公彦指導主事】

・ICTの活用について自身がもっと使いこなすためには，とにかく使ってみることが大事だと感じた。ルールを徹底して児童の学びを深める手段として，様々な場面で使えるようにしていきたい。様々な実践事例を知り、実際に試してみたかった。

⑥ 学級における心理的安全性と笑い【FUNBEST　オシエルズ】

・笑いの大切さ、学級経営の大切さを学んだ。いじることと、いじめることの違い、本人はそう思っていなくても相手を傷つけてしまうことがあること，など今後の学級経営の参考になった。様々な活動を通して、まずは子供の思いを受け止めることが重要だと感じた。自分の思いを受け止めてもらえるという安心感が子供たちの心の解放につながる。まずは，教師自身が「最高の観客」でありたい。私が苦手で足りない資質は「教師はパフォーマー」であることだと思っている。しかし「教師は最高のオーディエンス」であることは実践できると感じた。「肯定」される気持ち，「否定」される気持ちを実感できた。笑いがある学級でありたいが，児童を傷つけないよう配慮していきたい。

【２】来年度に向けて（アンケート結果を踏まえて）

アンケートへのご協力をありがとうございました。校内研究会が中止になってしまいましたので，このアンケートを踏まえて，校長先生・教頭先生・教務主任・副教務主任と1年のまとめと次年度の引き継ぎ事項を話し合いました。以下のまとめのように，次年度に申し送りたいと思います。

本年度は，研修会中心の校内研でした。今日的な課題に向き合い，見識を広げる内容でしたが，その後の教育活動にどのように生かされたでしょうか。具体的に今年の成果や課題をあげてください。

・新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、校長として教職員に校内研究会を通して経験させたいこと、出会いをさせたい人に制限がかかってしまい、十分なことができませんでした。また、６０分きっちりで終えられない時もありましたが、研究主任を中心に熱心に取り組んでいただきました。時間については、来年度、検討してください。研究主任起案の「校内研究　履歴シート」は、良い取組でした。個人的には先生方の記述が大変に参考になりました。

・いろいろなカテゴリーについて小出しに体験できたことが有意義でした。日常の業務に負担がなく，またすぐに実践でき，今日的な課題である多忙化解消にもなりました。

・研修講座制の研究会は，「今必要なこと」なことをダイレクトに学ぶことが出来，すぐに使えることが魅力的でした。

〇学級経営を中心に，校長先生に私たちが課題としていることを見据えた講師を紹介、招集していただきました。すぐに使えることができる，有意義な研究会を行うことができたことは，成果でした。
◇多忙化の解消のため，６０分と時間を制限しましたが，ペッパー君のプログラミングや高橋先生や内藤先生のワークショップ・先生方との意見交流では，もっと時間が欲しかったとの意見も多くありました。長時間にならない取り組みは大切ですが，弾力的な時間の使い方が課題となりました。

従来の研究授業を中心とした「仮説検証型」の研究会ではなく，「課題解決トピック型」の校内研は，多忙化やコロナ禍での研修会のあり方を提案するものでした。H30 とＲ元は「外国語の仮説検証型」，Ｒ２とR3 は「課題解決トピック型」を行いました。来年度はどちらの形式で行った方がよいと思いますか。それは，なぜか理由もお書きください。

〇「仮説検証型」（　１　）人

〇「課題解決トピック型」（　１４　）人

＜「仮説検証型」のよい理由＞

・コロナ禍の授業のあり方を研究することで、今後の授業を模索することができるだろう。

＜「課題解決トピック型」のよい理由＞

・仮説検証型は、仮説設定・概念規定に時間がかかります。仮説ができた時点で研究脳結論はある程度、把握できます。現場の研究には適していました。でも、時間がかかります。次に、課題解決トピック型の校内研究会であっても、共同指導案作成による授業研究会は絶対に必要だと思います。授業観察の正しい方法、ワークショップ型研究会の正しい方法などを学ぶことが必要でしょう。特に経験年数の少ない教員の力量形成には不可欠な営みです。

・今、そのときに研修が必要なこと、知りたいこと、手立てなどを研修することができました。よい方法だと思います。ただし、指導案から練り上げ、授業をすることも、大切だと思います。校内研としてではなくても、そのような機会は１年に１回は必要だと思います。

・課題解決トピック型でタイムリーな話題を解決したり，教員個々の専門分野を学び合う場として利用したりできるのではないかと思います。

・課題解決トピック型の方が，今日的な課題に取り組むことができて，すぐに実践に生かせて良いと思いました。

〇プログラミングやクロムブック，学級経営など，タイムリーな話題のトピック型は有効で、成果となりました。
◇一方，年間を通して，授業観察や指導案の練り上げ方について学習機会がなかったことが，課題として上げられています。相川小学校では，四年前，２カ年計画で全小英の公開授業がありました。二年前から，今年度のような「課題解決トピック型」の研究会を行っています。近年、国語・算数といった全学年を通し，授業時数の多い教科の授業観察や指導案作成が行われていません。経験年数の少ない教員も増えているため，毎日行う教科の授業にじっくり向き合う機会を作ることも大切なのではないでしょうか。

来年度の校内研究会で取り組んでみたい内容がありましたら，具体的に書いてください。

・先行研究を掘り起こす時間を勤務時間内に確保してもいいのではないでしょうか。

・課題解決トピック型と併用して，お互いに気軽に授業を参観し合える機能を校内研に取り入れたらいいと思いました。（２）

・トピック型にするのであれば，お話を聞きたい講師の希望をとってみるのもいいと思います。

＜来年度への申し送り事項＞
〇基本的には，研究会は６０分とし，研究内容によっては弾力的に時間を設定する。
〇来年度、相川小学校は、甲府市教育実習校の指定校。全４回のうち，３回はブロックでの授業提案（道徳と他２教科）を行う。その中で，授業を見合ったり、指導案を共同で練り上げることを通して，職員同士の力量を高めていく。
〇積極的な授業参観を取り入れる。

【研究同人】

校長	小宮山　尚	３年	小池　牧
教頭	篠原　利明	３年	武居　菜生
教務主任	乙黒　誉雅	４年	村松　宏美
教務副主任	保坂　由起	４年	藤巻　良輔
研究主任	村松　宏美	５年	清水　みゆき
教務	鶴田　恵子	５年	鈴木　基生
特支	饗場　公子	６年	岩間　一郎
特支	平井　規昭	６年	浅利　佳歩
特支	深澤　実夏	養教	高鳥　隆子
１年	小澤　彩子	事務	小田切　昌江
１年	小澤　一美	司書	芦澤　彩
２年	丹澤　麻理恵	学習指導員	大森　聖子
２年	稲田　勝子	ｽｸｰﾙｻﾎﾟｰﾄｽﾀｯﾌ	中澤　佳奈

本研究を行うにあたって，山梨県教育委員会・山梨県総合教育センター・山梨大学・甲府市教育委員会・アイやまなし人材育成・日本学校教育相談学会・（株）FUNBEST のオシエルズの皆様に厚くお礼を申し上げます。